

平成26年度第2回緑区区民対話会 議事要旨

＜テーマ 「町内自治会運営に係る課題について」＞

- 旧来からある住宅地等では、2世帯・3世帯住宅などが多くみられ、それぞれ自治会に加入してくれているが、同じ建物（敷地内）に住んでいるという事で、加入は1世帯としてカウントしている場合が多い。その結果、住基上の住民登録数を基本に自治会加入率を算出すると、低い数値となり、実情と異なってしまふ。こういったケースの世帯に対して追加で会費の徴収は難しいのだが、行政事務委託料の申請世帯には加えても良いのか。

＜区役所の発言＞

基本的に町内自治会の加入世帯数の捉え方については、各町内自治会様が個別にその世帯の玄関の数、生計の別、会費の徴収等の状況を総合的に判断していただいた上で、世帯名簿を提出していただければ、その数に応じて区では行政事務委託料をお支払いいたします。ただし、ご質問のケースの場合は、非常に判断が難しい部分でありますので、少しお時間をいただければと思います。

- 最近高齢者で自治会を脱会する人が多い。その中で、自治会を脱会していて脳梗塞でゴミ捨てが出来ず困っている方がいる。自治会で助けてあげたいが、脱会している人に手を貸す事に反対の人もある。こういった場合どのように対応すればいいでしょうか。

＜区役所の発言＞

直接の解決にはなりません。千葉市では家庭ゴミステーションにごみを出す事が困難な高齢者や障がい者世帯などのごみ出しを行う団体に対して、補助金を交付する「ごみ出し支援事業」という補助制度があります。参考までにお知らせいたします。

- そういった方に対しては、ごみ収集業者が家の前まで戸別に回収する等の様々な方法を考えるべきでは。
- 脱会して、不平等のように感じる時もあるが、困った時はお隣同士で助け合っていくべきだと思う。
- ある自治会では役員をやりたがらず脱会し、加入者よりも脱会者の方が多いいエリ

アもある。そうなると対応が非常に難しい。

- ある自治会では高齢者で役員をやりたくないという場合は、免除するようにしている。会費の軽減等はしてない。それで他の会員からの不平・不満などは特に出ていない。
- アンケートを取って意見をまとめたところ、高齢者でも会費を負担するという方もいる。そこは要望があった場合のみ対応している。ただ若い世代でも役員をやるなら脱会したいという人が多くなっている。
- マンションでも同様の問題が生じていて、新役員をお願いしてもそれなら脱会するという方も多し。輪番制でやっているのだが、そうなると順番が崩れ、結局知り合いに頼むことになって顔ぶれが一緒になってしまう。会員はほとんどがサラリーマン等の現役世代で、忙しい方も多く止むを得ない面はあるが、非常に困っている。自治会のメリット、役員の順番等についてもっと周知していきたいと考えている。
- おゆみ野地区の新住民は非常に若い世代が多い。そういった世代を取り込むためには彼らが何を求めているかを把握するのが重要。その一つは情報だと思う。例えば災害等の緊急時において、自治会に入っていればこういう流れで速やかに情報が下りてくるといった事を行政側にきちんと示してほしい。
- 新しい地域だと小学校のPTA等で集まる機会も多く、ボランティア組織も作られている。そういった組織と自治会との差別化をきちんと周知していくべき。
- 自治会は地方自治の最小単位であり、その役割は非常に大きい。今後は区が中心となってアピールしてほしい。例えば区長の出前講座・懇話会などを地域や小学校の入学式・卒業式等で行い自治会加入をアピールするのも良いと思う。
- 設立総会のやり方等、様々なお手伝いをしているが、ただ設立した後に何をしたらいいか分からないという自治会もある。どうして自治会が必要なのか、そのメリット・デメリットについての説明を求められることが多いので、今後とも区にはバックアップしていただきたい。

<区役所の発言>

現在は、説明会などで防犯・防災・地域コミュニティの観点から、何度も自治会の意義について説明することによってご理解をいただき、設立に結びつくという状況です。学校と区役所ではなかなか繋がりが無いところなのですが、学校等に呼んでいただければいつでも説明をしたいと思っています。

また情報についても説明会で随時説明しており、千葉市から地域まであらゆる情報を回覧によって提供しております。回覧は住民の安否確認にも繋がりが、コミュニケーションが取れるメリットもあると思っています。

市内に30数か所あるマンションにも随時説明に伺っていますが、最近説明したマンションでは寄附金を求められるので設立に反対という意見もありました。寄附金は任意と説明しても中々納得してもらえず先に進まない状況です。

- マンションは管理組合が運営主体なので、自治会が無くても困らないという考えが多い。

<区役所の発言>

千葉市では一定の要件を備えたマンション管理組合を、町内自治会と同様に取り扱う制度になっているので、その辺りを説明して、今年度2つの自治会を設立しています。

- 若い世代には自分たち対行政、自分たち対学校といったように対峙する傾向がよく見られるが、今は学校や行政と一緒に取り組んでいこうという住民側の姿勢も大事だと思う。そういった住民側の自覚を促せるような事をしていければと思う。色々な地域活動をしていて、身近に感じるような事も色々やっただいているので、それが住民側にきちんと伝わっていけばいいなと思います。